

令和7年5月定例教育委員会会議録

令和7年塩尻市教育委員会5月定例教育委員会が、令和7年5月29日、午後1時30分、塩尻総合文化センター2階大会議室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

報告第1号	主な行事等報告について
報告第2号	6月の行事予定等について
報告第3号	後援・共催について
報告第4号	塩尻市文化会館の予約受付の一時停止について
報告第5号	塩尻市立博物館協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
報告第6号	本洗馬歴史の里協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
報告第7号	塩尻市立図書館協議会委員の任命に係る専決処分報告について
報告第8号	塩尻市学校運営協議会委員の解任及び任命に係る専決処分報告について
報告第9号	令和7年塩尻市議会5月臨時会報告

4 議 事

議事第1号	塩尻市人権教育推進委員会委員の委嘱について
-------	-----------------------

5 閉 会

○ 出席委員

教育長	赤 羽 高 志	教育長職務代理者	碓 井 邦 雄
委 員	徳 武 あ ゆ 子	委 員	甕 剛
委 員	八 島 思 保		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	百 瀬 一 典	交流文化部長	上 條 史 生
こども教育部次長 (こども未来課長)	竹 中 康 成	交流文化部次長 (社会教育スポーツ課長)	上 村 英 文
学校教育課長	上 條 崇	平出博物館長	小 松 学
教育施設課長	五 味 克 敏	市民交流センター 長(図書館長)	矢 澤 昭 義
保育課長	塩 原 清 彦	文化財課長	古 畑 比 出 夫

国民スポーツ大会 長 島 峰 行
推進室長

主任学校教育指導 小 林 順 一
員

○ 事務局出席者

教育企画係長 浅 川 忠 幸

1 開会

赤羽教育長 皆さん、こんにちは。令和7年度がスタートして2か月がたちました。洗馬小学校6年生を対象に、我が家の交通安全課長委嘱式、各中学校の3年生が修学旅行、それから桔梗小、東京都市大塩尻校、中央スポーツ公園、3会場にて第37回のファミリースポレクフェスティバル、えんぱーくでは本の寺子屋開講式、そして、博物館協議会、本洗馬歴史の里協議会等、たくさんの文化施設の協議会があり、委員より活発な意見が出されました。また、保育園ではお弁当を持つのミニ遠足、小学校では多くの学校で運動会、中学校では中信大会に向けての練習が盛んに今行われております。

それでは、ただいまから令和7年5月第2回定例教育委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

2 前回会議録の承認

赤羽教育長 次第に従いまして、2番、前回会議録の承認について、事務局からお願いします。

浅川教育企画係長 前回、4月定例教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきますのでよろしくお願いいたします。以上です。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

赤羽教育長 それでは、そのようにお願いいたします。

3 教育長報告

赤羽教育長 続いて3番、教育長報告に入ります。2点報告させていただきます。

1点目です。皆さんも御存知かと思いますが、海外から80名を超えるインドネシア訪日教育旅行団が5月19日の月曜日、3班に分かれて塩尻中学校、塩尻東小学校、塩尻西小学校で国際交流会が行われました。このような国際交流というのは、本当に久しぶりであります。

塩尻中学校のホームページを見ますと、インドネシア訪日旅行生との交流会、学んだ英語を駆使して自己紹介、クイズに挑戦して質問タイムの交流、さらに歓迎セレモニーでは、三役の皆様による英語の進行や挨拶に続いて学校紹介や合唱発表、それからインドネシアの皆さんによる不思議なパフォーマンスも堪能しました。くす玉が割れないアクシデントもありましたが、お互いの気持ちが通じ合う心温まる時間となりました。

塩尻西小学校のホームページを見ますと、6年生がインドネシアの中学生と交流しました。ジャカルタにあるニザミア・アングダルシア中学校の2年生の皆さんが来訪されました。五、

六時間目に多目的室で、お互いの生活について紹介し合う交流で親睦を深めました。アニメや音楽など、お互いに知っている内容が出てきて、会話が盛り上がる場面もありました。時間いっぱい、お互いの思いを伝え合うことに集中して取り組むことができました。

塩尻東小学校ですが、名取校長からの報告です。3年生が交流し、用意したよもぎだんごを食べたり、折り紙やドッジボールを行ったそうです。ドッジボールでは、簡単なルールを説明して、その後ゲームに入りました。ボールに当たれば外野に出ていく3年生の姿を見て、中学生が理解しながら言葉の壁を越え、ゲームを楽しんだそうです。共に笑顔いっぱいのドッジボールだったそうで、クラス替えをしたばかりの3年生にとっても貴重な体験だったとお話しされました。

そして、市の教育センターの小林主任学校教育指導員から、西小学校6年生と塩尻中学校3年生との交流の子ども達の様子を伝えていただいたので、紹介させていただきます。

塩尻西小学校では、開会セレモニーで伊藤校長から英語を交えた歓迎の挨拶がありました。その後、児童代表が英語で歓迎の言葉を発表し、ニザミア・アンダルシア中学校の代表が挨拶をした。その後、互いに記念品を贈り合った。中学生は、ウクレレの伴奏で『365日の紙飛行機』を日本語で歌ってくれた。

グループでの交流は、西小の児童二、三人に対して中学生は一、二名がグループになり、授業で学習した表現を使って話しかける様子が見られた。初めは習った表現を使って話しかけていたが、次第に相手の言うことを聞き取ろうとする様子が見られた。時間がたつにつれて、子どもたちの表情が和らいでいった様子が見られた。中学生が6年生の言葉をうまく引き出そうとしてくれているようにも見えた。

塩尻中学校では、5時間目の英語の授業に中学生が参加していた。伝えたいことを手ぶりを使いながら話していた。また、お互いに翻訳ソフトも使いながらコミュニケーションしているグループもあった。授業が終わっても話を続けていたり、グループから離れたときに手を振り合っている様子も見られた。

その後、体育館に入場し、交流セレモニーが行われた。互いの学校の生徒会長が歓迎の挨拶をし、塩尻中は生徒が英語に翻訳し、インドネシアの中学生は大人が日本語に翻訳していた。塩尻中3年生は、日本の中学の日常の様子をスライドで発表した。SEKAI NO OWARIの合唱と塩尻中校歌の合唱をした。歓迎のくす玉を用意し、インドネシアの中学生が引っ張ったもののうまく開かず、笑いを誘った。インドネシアの中学生からは踊りのプレゼントがあった。発表にうなずいたり、挨拶の翻訳に歓声上がるなど、和らいだ交流会となったという報告です。

3校の子どもたちにとって、この国際交流のイベントは、英語を身近に感じ、関心・意欲がより高まっていく貴重な体験につながっていく機会になったなと私も感じました。その裏では、準備してきた関係の先生方、たくさんいろいろあったと思いますが、本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

2点目です。

人権の花運動贈呈式は、毎年市町村を回っているそうで、私が参加したのは今回初めてでした。事前に担当の職員からこう言われました。この会に出席する小学校三、四年生の子どもたちに人権の花の意味が少しでも意識でき、分かりやすい挨拶をお願いしたい。担当課の挨拶文もあったのですが、それを参考にして、小学校中学年の子どもたちの姿を思い浮

かべながら挨拶文を考えました。私も、当日の子どもたちの反応が楽しみでありました。

当日の会場は塩尻志学館高校の大講義室というところで、斜めになっていて、椅子がたくさんあります。私は早めに到着したので、桔梗小学校と塩尻志学館高校との間の道路のところにある入り口に立ちました。校地内にあるブドウ棚を見ると、小さなブドウの花が咲いていました。当時、塩尻高校の頃、私は桔梗小学校に勤務していたので、東側の桔梗小の校舎を見ると、その頃を思い出しました。低学年棟なので、その子たちの中で当時3年生だった子の1人が、今、市内で居酒屋の店主をしているわけです。

大講義室で待っていますと、すごく元気な声が聞こえてきて、桔梗小の3年生104名、それから洗馬小学校4年生31名が入ってきました。私は代表の児童だけが集まるのかなと思っていたのですが、大人数がその部屋に入りました。そして、私たちがいつもお世話になっています塩尻市の人権擁護委員会委員の皆さん10名近い方が入ってきました。

贈呈式が始まるまでの時間、かなり早く集まってきたのであり、その間、この会場は子どもたちの声がわんわんわんわんと、リラックスしている様子がありました。開始1分前頃ですけれども、桔梗小の学年主任の先生がぱっと合図をして声がけしたら、しんとなりました。松本法務局の代表の方の挨拶が終わり、私の番になりました。少し恥ずかしいですが、その原稿を読ませていただきます。

塩尻志学館高校、桔梗小学校、洗馬小学校の皆さん、おはようございます。私は塩尻市教育委員会教育長の赤羽高志です。皆さんの学びを後押しする仕事をしていますよ。以前は小学校の教員でした。35歳の頃から60歳まで、子どもたちと一緒にサフィニア、マリーゴールド、パンジー、ビオラなど季節に応じた花づくりを行ってきました。

こんなことがありました。先生たちの話合い、職員会のことです。体育館につながる廊下を走っていく子どもたちが多いので、廊下と廊下の交差する場所でぶつかってしまう、そしてけがをする子が続き、教室で注意してもまだまだ走り続けていました。先生方は、片方の廊下にタイガーロープを張って規制すればいい、そういうような意見が出てまとまりかけたときです。私、勇気を出して、花づくり委員会を担当している私は、ロープではなくて、危険な部分に委員会の子どもたちが大切にしてきた花の苗を植えたプランターを並べてみたらどうでしょうかと提案しました。

すると先生方から、花壇は、いつも一生懸命子どもたちが世話をしている委員会の子どもたちの姿をうちの学校の子どもたちはいつも見ていますと。もし花がそこにあれば、花が好きな子どもたちは、ロープより効果があるかもしれませんという意見が出て、最終、そこに花のプランターを並べることになりました。花苗を意識して走らず、歩く子が多くなりました。

教室の廊下も、右側通行がだんだん守られるようになってきました。1回だけですが、横を見ながら歩いていた子がプランターを1つ倒してしまったことがありました。その子は、担当の私のところまで報告に来てくれ、その子と一緒にもう一回植え直しをしました。それから苗が大きくなって花が咲き始め、そして終わるまで、その危険な廊下は、もう走る子は誰もいなくなりました。

今回の人権の花運動でプレゼントしていただく苗は、塩尻志学館高校の生徒と担当の先生が昨年の秋から種から心を込めて育ててきた苗であります。本日の贈呈式の会場もお借りして、全面的に人権の花運動に協力していただきました。今日、塩尻志学館高校の人権の花は、

小学生へと引き継ぐことになります。皆さん、優しい心で協力しながらお花の世話をし、たくさんのお花を咲かせてください。そして人権の花運動、この物語は続いていきます。皆さん、よろしくお願いします。

どの子どもたちも真剣に話を聞いてくれました。その後、洗馬小学校の子どもたちの代表と桔梗小学校の代表児童からも、心のこもった作文発表がありました。洗馬小学校4年生は、この後、塩尻志学館高校で鉢植え作業を済ませてから、バスに乗って学校に戻って行きました。桔梗小の3年生は、本当に高校が隣にあるので、事前に鉢植えの作業は終了していました。

そして、先週の5月24日土曜日です。私が桔梗小学校の運動会に行ったときなのですが、2部制の運動会で、昨年度までは、半数の児童は教室の大型画面を通して運動会を応援していましたが、今年は全員外に出て、2部の学年の子どもたちが、体育館の北側に大きな階段がありまして、そこに並んで応援をすることになりました。そこに移動してきた3年生の子どもたちが、私の姿を見つけると、人権の花のときの人だとか、何人もの子どもから声をかけられたり、挨拶されました。人権の花運動のときに足をけがしていて、足首全部包帯を巻いていた子が後ろから歩いてきたら、その子も私に挨拶してくれたのですけれど、包帯が小さくなったというか、少しよくなってきたのかなと。最後に先生たちも、本当に笑顔で挨拶を交わすことができました。以上、私からの報告は終わりにしたいと思います。

報告についての御意見、御質問、また、ほかのイベント等の報告、質問等ありましたら、この後お話しいただきたいと思います。私からは以上です。では、お願いいたします。

碓井教育長職務代理者 質問を1点と、報告を2点お願いしたいと思います。

今、教育長から初めに御報告いただいたインドネシアの子どもたちとの交流会についてなのですが、言葉の壁を越えた交流の様子とか、英語を使った交流の様子等、子どもたちのいい姿をお聞きすることができて、本当によかったなと思うのですが、この交流会はどのような経緯で開催するに至ったのか、それから、これは単発なのか継続なのか、その辺のところをお聞きできればと思います。

上條学校教育課長 今回の交流につきましては、直接教育委員会にお話が合ったものではありません。県の観光機構が実施している状況でございます。今回は、観光機構の担当者の方と今年度赴任されました塩尻西小学校の校長先生がお知り合いという形の中で相談を受けて、塩尻市内の塩尻中学校区で受け入れたという経過がございますが、計画的だったかどうかというのは分かりません。今後につきましても、県の観光機構で県内各地において執り行っていくという形がありますので、また来年あるかどうかというのは、分からないところがあります。通常であると、多分違う地域に赴くかなと考えています。

赤羽教育長 続けてお願いします。

碓井教育長職務代理者 ありがとうございます。このような機会はなかなかないというふうに思います。こういう機会は大事だと私は思いますので、できるだけチャンスがあれば、設けていただくことがいいのかなと思います。

それから、今後もいい交流を続けるという意味で、今回行った交流した先の皆さんと、時々でもいいので、オンラインも今発達していますから、そのようなものも使ったりしながら、継続してやっていただければよりいいかなと、そんな感想を持ちました。またこういう機会があったら、やっていただければと思います。

上條学校教育課長 本当に職務代理がおっしゃるとおり、いい機会でありますし、せっかくでするので、継続的な交流というものは非常に重要なと思っています。塩尻市では、セイコーエプソンと包括連携を結んでおりまして、何かしら教育現場のほうにエプソンの製品を含めて活用、協力したいという中に、海外の学校とのオンラインでの交流みたいな提案もいただいておりますので、例えばエプソンを交える中で協力的に発展させていければと考えております。

碓井教育長職務代理者 ありがとうございます。では、続けて2点、お願いいたします。

1点目は、平出遺跡公園でのイベントに行行って感じたことです。私は5月の連休に行われた信州キッチンカーフェスティバルに行きました。行った日は3日の日なのですが、当日は天気もよく、大勢の人が来場していて、皆さんそれぞれ木の下に敷物を敷いたり簡易テントを張ったりして、食事したりくつろいだりしていました。

縄文の復元住居近くではダンスパフォーマンスも行われていて、見物する人も含め、大変にぎわっておりました。ダンスパフォーマンスをしていた周りに復元住居が幾つかあって、そこに出入りする人の姿も多く見られました。

私もそうなのですが、この日は多くの人が縄文や弥生文化を目的に来たわけではないかもしれませんが、イベントに来て、近くにある復元住居に入ってみて、ちょっとした歴史的体験をする。平出博物館の館長には叱られてしまうかもしれませんが、こういうこともいいのではないかなと。平出遺跡公園だからできるのではないかなと、そんなことも思いました。

改めて感じたことは、平出遺跡公園は駅から歩いて来ようと思えば来られるし、駐車場も結構ありますし、景色もいいですし、野外に人が集まる場として大事にしたいなと、そんな場所だなということを思いました。

それから2点目は、先ほど教育長が述べられました、小学校の運動会についてです。教育長も行かれたという話があったのですが、私も5月24日に行われた桔梗小の運動会を見に行きました。桔梗小では、今年の運動会のスローガンを「努力・全力・協力、君の一步で絆をつかめ」としていて、全校が一堂に会した運動会でした。

私は運動会の後半部分を見せていただいたのですが、特に6年生の組体操は1年次のコロナ禍からスタートした小学校生活を表現していて、とても見応えがありました。子どもたちも保護者の皆さんも、6年間のいろいろなことが脳裏に浮かんできたのではないかなと、そんなことも思いました。

そして閉会式は、雨の心配もあったのでしょうか、午前11時から行われました。この時間帯は、以前の運動会であれば午前の部の後半の時間で、盛り上がっている時間でしたので、以前の運動会を知る者、運動会に力を入れて実施してきた者としては少し寂しいというか、物足りないなというような感じを持ちました。ただ、昨今の天候を考えたり、子どもたちの実態等をお聞きしたりすると、このような運動会もありなのではないかなというようなことも思われて、私としては複雑な心境であります。

当日は曇りで、時折小雨が当たる、そんな天候でしたけれども、桔梗小の700人を超える大勢の子どもたちが一堂に会して元気に活動する姿を見させていただき、そういう点では大変よかったなと思います。以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。

小松平出博物館長 ありがとうございます。5月3日から5日にかけて、3日間ですけれども、信州キッチンカーフェスティバルということで、平出遺跡公園を会場にイベントが開催されました。主催につきましては、市ではなくて民間の方々ですけれども、こういう博物館といたしましても、せつかく5ヘクタールほどある広い公園の中でゆったりとした時間ができ、なおかつその中で、本来はキッチンカーということで、食とか、そういったものを求めて来る人たちなのですが、そこにある復元住居とか、あと、そこにガイダンス棟などを活用して、歴史も少しだけでも味わってもらえればということで、こちら也大いにそういったイベントは今後も開催していきたいということで、あの場所が多くの人たちにとって歴史を学ぶ場だけではなくて、日常生活の中の一こまでもあそこを使ってもらいたいということで、今後も活用を促進していきたいと思います。

赤羽教育長 ありがとうございます。続けてお願いします。

徳武委員 私も行事に何件か参加したので、その報告をさせていただきたいと思います。宗賀小学校で、毎年行っているジャガイモ、サツマイモなどの野菜作りのボランティアに行ってきたのですけれども、授業の時間割の関係もあり、縦割り班がなかなか組めないということで、今年は1年生と6年生だけ縦割りで一緒にやって、ほかの学年はその学年だけで作業をやっているそうです。

5月8日にサツマイモの苗を植えるところに参加をしまして、この縦割りは6年生が1年生に教えてあげながらやるという授業でした。6年生は事前に座学の授業を受けていまして、どうやってサツマイモを植えるかとかはもう全部勉強してありまして、当日も先に来て準備をして、どんぐりのメンバーの方々からも教わりながら、6年生が先に植えた後に1年生が来て、実際に教えている姿を見ました。

6年生が大変しっかりしているなというのを本当に感じまして、手取り足取りと言え少し言い過ぎかもしれないのですけれども、丁寧に優しく、サツマイモの苗は、植える角度とか植えた後の処理とか、結構大変なのですけれども、そういったところも漏れなく教えている姿を見て、6年生すごいなと思ってすごく感心した次第でした。

生徒が1年生と6年生、大体全部で四、五十人、そこに大人、どんぐりのメンバーが大体10名ぐらいつきまして、毎年やっています。メンバーも毎年新しく加わったり、そのとき来られる人でいろいろ都合をつけて皆さん来てくださるので、大変ありがたいないつも思っております。

そのちょうど同じ日、私は以前から行きたいと思っていた丘中学校のカフェ丘のほうに見学をさせていただきました。ちょうどどんぐりのメンバーの人に、これからカフェ丘に行ってくるのだという話もしたのですけれども、宗賀小学校でも、水曜日の2時間目休み時間に、同じような活動をやっているとして、いろいろお願いはしているけれども、なかなか大人が集まらないということも聞いてはいたのですが、丘中でも実はそういうことをやっていて、これから見に行ってくるのですよと言ったら、中学生がやっているのはすごいねという話にどんぐりのメンバーの方との話にもなりまして、どんなふうに行っているか、ぜひ見てきて欲しいと言われました。

その後、実際に八島委員のところに行かせていただいて、カフェ丘を見させていただいたのですけれども、ちょうどその日は2年生が担当ということで、2時間目の休み時間、チャイムが鳴って、本当にすぐに子どもたちがわっとカフェ丘の教室に集まってきました、楽し

そうに思い思いの時間を過ごしている姿を見てきました。私も一緒に参加させていただいて、2年生の男の子と少し遊ばせていただいたのですけれども、本当にみんな純粋な子で、とても楽しかったなということを感じました。

何よりも、どんぐりもそうですし、カフェ丘の方もそうですけれども、運営メンバーの方がとてもやりがいを持ってされているのがとても印象的でした。どうやったらこの学校がこれからよくなっていくのかとか、子どもたちとどうやって関わっていくかということを本当に真剣に考えていらして、こういう大人の方たちがいるというのは、本当に子どもにとってもありがたいことだなということをいつも感じております。

宗賀小学校でも、広場の運営の仕方を、これからどういうふうにしていこうかなということを、やはりどんぐりのメンバーの人も言っていましたけれど、そういった情報も共有できたら、今後ますますいいのかなということを感じて見てきました。そちらは以上です。

もう1点、5月15日の日、西部中学校のリーディングDX校の視察ということで、こちらを見に行かせていただきました。最初の受付で、今日の資料ですと言ってタブレットを1台渡されたときは本当にびっくりしてしまって、これ进行操作しないと今日の資料も見られないのだなということで、大変驚きました。何とか使い方をいろいろな方に教わって進めていきましたら、授業でGoogleスプレッドシートというのを使っているそうでした、そこに、教室での授業ごとに、生徒1人1人の、まとめた意見というのが一覧で出てきて、それを瞬時に皆で共有して見られるということで、大変驚きました。

自分の学びを振り返るCatch、次への学びとつながる気づきNextということで、シートが3段階から4段階に分かれていまして、その日の授業だけではなく、事前から進めたり、前の授業の段階から記入したものも入っているということで、自分でその意見というのをいつでも記入したり直したりすることができるそうです。子どもが主体になって探究的な学び、個別最適な学びということでそういったものを使っているということなのですが、私は個人的にはすごく分量が多かったので、子どもが別の人の意見を時間中に全て確認できるのかというのがとても気になって、帰ってから、うちの息子の意見で恐縮ですが、聞いてみたのです。

授業中にあれだけの分量を、他人のものを読むことができるのかということを知りましたら、読みたい友達のところをピックアップして、自分でその何件か参考にして見ているということで、そういうやり方もあるのかと思いました。例えば友達の意見や何かで良い意見があったら、それを写させてもらおうかみたいになってしまうことはないのかということを知りましたが、そうではなくて、それを基にまた再構成して、自分の意見を書く欄がきちんとあるのだよと、そういうふうに言われまして、子ども達は使い方をよく分かっているなということを感じた次第です。

1組が社会、2組が国語、3組は理科でしたか。うちの息子の感想で申し訳ないのですが、例えば国語と社会と理科があったら、そのスプレッドシートはどれが一番使いやすいのという話を聞きましたら、理科が一番使いやすいということを書いていました。理科だと、実験して結果がこうなった。では、さて次はこうしようというのがよく分かるというのが、理科が一番使っていていいかなということを書いていまして、数学と英語に関しては、答えが出てしまうので、考察するというよりは、答えを求めるという点では、理科よりは使用頻度は低いかなということを書いていました。なので、理科、社会あたりは、そういうことを使って

いくのはとてもいいのではないかなということは言っていました。

あの時間は授業参観で、学校のお便りにもありますけれど、120名の先生方が参加したということで、子どもも大変緊張していたし、先生もすごく緊張していたというのは聞いていますので、想像以上に静かだったのですけれど、本来でしたら活発な意見交換だとか、そのようなことがあるのではないかなと思いますし、自分の記入したものを基に、発言もあると尚良いと思います。良い経験をさせていただいたと思っております。以上です。

赤羽教育長 詳しくありがとうございます。では続けて、関連してお願いします。

碓井教育長職務代理者 今、徳武委員が2番目におっしゃった文科省リーディングDXスクール事業指定校の西部中学校の授業や講演会に私も参加させていただきましたので、少しお願いしたいと思います。この事業は西部中、宗賀小、洗馬小が指定校で、檜川小中学校が協力校になっていて、この日はその関係の全先生方が集まって学び合う会ということで、中学校区を中心に、小中連携的というか、一貫的というか、そういう大事な取組をされているなど、そんなことをまず思いました。

公開授業については、徳武委員は国語だったと思うのですが、私は3年1組の社会科の授業を参観させていただきました。この授業は、初めに先生が少し話をされた後、すぐにタブレットを使った個別の学習に入って、その後、時々先生の言葉はありましたけれども、授業の終わりまで、生徒の発言は一切ないという授業でありました。

私は、近くにいた一人の生徒の学習の様子を見ていたのですが、その生徒は初めから終わりまでタブレットに集中して学習をしていました。私が見た限りでは、タブレットに表示される資料を見たり、自分の考えを書き込んだりして、次の時間の課題も自分で導き出していましたので、個別学習に主体的に、また、タブレットに表示される他の人の意見も参考にしていましたので、協働的といえれば協働的な学習にも取り組んでいる姿が見られたと思います。

また、自主的に学習する、学び方を学んでいる姿、そういう姿も見られたと思います。講演会でも講師の先生がAIを使って授業をまとめてくださって、子どもたちは有効な学びをしていたというようなお話がありました。私自身が受付で貸与していただいたタブレットをもっと使えば、さらに子どもたちの学びの変化を見ることができたと思いますし、その授業全体を短時間でまとめるAIの力はすごいなということも思いました。時代も教育技術も変化しているので、うまく利用できるものは活用していくことが大事だということを、この日は実感いたしました。

ただ、徳武委員も少し触れられましたけれども、この授業は、生徒の発言は一切なく、タブレットに黙々と向かって取り組んでいるという、そういうものでしたので、今まで私が持っていた授業観とは大きく違うものでありました。この事業のパンフレットを見せていただくと、この事業の目指すテーマは「ワクワクする学びを塩尻から」～GIGA環境を活用した地域連携の新たな学び～というふうになっています。ワクワクという部分、それをどういうふうに捉えるか、これはいろいろあると思うのですが、そういう点も含め、もう少し掘り下げて、事業はまだ始まったばかりですので、今後研究していただくとさらにいいのではないかなというようなことを、私はその日に参観させていただいて感じました。以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。関係してありますか。ないですね。では、いいですね。

では、ほかの委員。

八島委員 私からは、同様な話になってしまい申し訳ありませんが、ゴールデンウィーク期間中、前半にチロルの森に出向かせていただきました。前半ということもあって、来園者数はちらほらといった状況ではありましたが、改めて、身近な自然と触れ合うことができるスポットとして出かけしやすい貴重なテーマパークであるなと感じました。

園内での体験は致しませんでしたでしたが、入場料の他に、各種体験コーナーの利用料は、内容の割に少々お高めであるなと感想を持ちました。もう少しオリエティが高い体験コーナーであれば満足度も向上すると思いました。

続いて、先ほど碓井職務代理者からもご報告がありましたが、私も、信州キッチンカーフェスティバルに足を運びました。30 台ほどのキッチンカーが出店されており、賑わいを見せておりました。天候もよく、こちらも連休中の身近なスポットとしては、大変好評であったと思います。

続いて、5 月 11 日に開催されたファミリースポレクフェスティバルに参加させていただきました。都市大塩尻高校とのタイアップにより、会場も広がり、体験内容も充実され、大人から子どもまで幅広く楽しむことができる環境が整っていたと思います。私は 10 個のブースを体験させていただきました。抽選会資格も取得でき、めでたく特賞を当てることができました。様々楽しませていただきありがとうございました。大変楽しかったですし、これをきっかけにし、スポーツを今後嗜んでいきたいと思う感情が湧きました。

最後に、意見を 1 点お願いいたします。4 月の終わりに丘中学校の P T A 総会に参加させていただきました。校長講話では、丘中学校働き方改革推進につき保護者へ説明され、理解を求めていらっしゃいました。また、前 P T A 会長より、P T A の活動の目標を挙げてくださいました。1 つ目、活動しやすい環境にすること、2 つ目、負担を少なくすることと説明されていました。丘中学校では、今年度より学級部活動を廃止し、施設部と厚生部を一体化し施設厚生部にすること。それに伴い、P T A 会費も、2,000 円から 1,800 円に減額すると発現され、承認をされました。

私は、あらゆる組織や団体が、社会の変化に対応していき、また変化に対応できる人材育成は重要性が高いと思っています。デジタル化や I T 化は次世代を切り開いていく前段階として必要不可欠であり、本市が力を入れている D X 化にも結び付いているのだと思います。一方で、デメリットや課題にも同じレベルで議論が必要であると思います。先ほどからお話がありますけれども、主体的に考えて I T 化を切り開く人材が花形となっていく一方で、多くの住民や子供たちは、その技術から作られたツールや、アイテムを使いこなしているだけで効率性ばかり意識していく社会や教育に疑問を感じています。二極化し、I C T 機器に依存しすぎてしまえば、想像力、創造性、思考力は育たず能力は低下をしていってしまう危険性もあるのではないかと強く思います。

世の中、便利が高くなっていますが、何かを探し、何かを見つけ、何かを調べる、そして何かを作り上げるなど、そういったものの快樂の感受性が低下してしまうのではないのでしょうか。本来人間の脳は、何かを作り、出来上がったときや、努力をすることで得る報酬から快樂を感じ、専門的に述べますと、ドーパミンが放出されます。便利になり、より簡単に快樂を得てしまえば、ドーパミンを結合する受容体が減少して快樂を感じなくなってしまう。より快樂を求めるために、刺激を求め、ドーパミンは過剰に分泌されてしまいます。

簡単に情報が入り、簡単に快樂を得てしまうと急激なドーパミンの上昇の代償が起き、その後急下降してしまい、さらに簡単に情報が欲しくなる。これが依存性の原理です。ドーパミンの分泌のバランスが崩れると、精神に混乱が生じ、鬱になったり、過激になったり、不登校の増加にもつながると言えます。このような環境を生み出しているのではないかなと懸念しています。自分の労力から得た真の報酬でなく、偽りの報酬に毒されると頑張れなくなってしまいます。教育社会や社会全体として、アナログも大事にしていく必要があると感じています。多様化はありますが、やはり人とのコミュニケーションを取りながら、地道に行う組合せも残しつつ、学校教育を進めていってほしいと思っています。以上です。

赤羽教育長 ありがとうございました。

齋委員 今、八島委員から出たチロルに関してです。週末ぐらいは、シャトル便を出してもらったほうがいいような気がしますし、小坂田公園とか地球の宝石箱をルート化して出すような形にしないと、チロルは、車を持っていないと絶対行けないところなので、少し考えてもらったほうがいいのではないかなと感じました。

また、スポレクに関しても、都市大塩尻高校の施設を使ったり、生徒に手伝ってもらったりと、都市大は宣伝がうまいなと思うくらい、魅力的な学校とか生徒づくりというものにすごく力を入れているなということを感じました。もちろんスポレクに関しても充実はしていましたけれども、高校生とか入ってくると、もっと活気づいて、すごくいいなと。ただ、県立高校は心配だなというのを感じたということです。

違った観点からですが、ホームページのことを毎回言わせてもらいますが、最近、閲覧数が各学校とも上がっていて、それに伴って、先生たちも一生懸命、生徒とか児童の活動を載せてくれたりしているので、学校の様子が分かって、とても楽しく見せていただいています。

その中でも、給食の栄養士の先生方が、今、給食費の問題とか物価高騰の問題もある中で、たくさん工夫をして新しいメニュー開発をしてくれているところにすごく感謝をするし、食育という意味では、子どもたちはすごく楽しい給食だなと思っています。また、この料理にはという一言コメントがあるのですけれども、給食日記みたいな本を出してもらってもいいぐらい、楽しい文章を付け加えてもらっているので、すごく温かいホームページだなと思いながら、毎日楽しみに見せていただいております。すごく感謝しています。

一つ、去年の5月にここでお願いしたことなのですが、地域連携活動支援交付金というのがあるではないですか。各学校、5月に一回切れると思うのですが、その利用状況とか、後日でいいので見せてもらえればありがたいと思って。各学校、どんなものが必要で、どんなものを買ったか、見せていただきたいと思っています。

それと、もう1つ、部活動の地域移行支援業務委託というものに関して、どれぐらいの応募があって、どういう形態が多いのかということが、もし分かれば教えてもらいたいと思います。

地域移行に関しましては、先日、スポーツ庁から、部活動の地域展開に当たっての取組事例集の中に塩尻市が出ていまして、どんなことで出ているかという、活動場所への移動手段の確保ということで、スクールバス車両とA I活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」を活用というところで、全国版で出ているので、これから先どう使っていくかはまだはっきりとは分からないと思いますけれども、そんなところを紹介させていただきました。

業務委託の件に関しては、分かる範囲でいいので教えてください。

上條学校教育課長 業務委託に関しましては、プロポーザルで一般公募を行ったという経過がございます。先日、審査会もありました。ただ、プロポーザルについては、応募数等の公表は、現時点では公表の予定はないと伺っています。ただ、委託業務のプロポーザルは既に終わっている状況でございます。

壺委員 応募は、あったのですか。

上條学校教育課長 応募はありました。

壺委員 分かりました。では、地域連携活動支援交付金の使用目的とかの領収書等を含め、見せてもらうことは可能ですか。去年、見せてもらったのですけれど。

上條学校教育課長 令和6年度分ですね。

壺委員 はい。

上條学校教育課長 また用意します。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。そのほかございますか。

碓井教育長職務代理者 先ほど八島委員から、人の感情というか、そのようなお話がありました。私がさっき申し上げたところに戻ってしまうのですけれども、西部中の公開授業のときに、この事業の目指すテーマ「ワクワク」ということをなぜ申し上げたかという、それは、「ワクワク」は感情というのか、心の動き、働きだというふうに思っていて、人が感情を込めた言葉がほかの人を動かす、ほかの人の心を動かすということが大きいのではないかと、そんなことも思っています。

ですから、先ほどのことに重ねて申し上げると、子どもたちは教室という空間にいるわけで、教室という空間に大勢の子たちが集まっている、その意味も考えながら、話すとか聞くなどの点も含めて、ぜひ学校の教育の中でその辺のところを。ICTの技術もちろん、これは今後必要になるのですけれども、そのような点とうまく共存していくというか、その辺も含めて、研究していただくといいということで、繰り返しになりますけれども、よろしく願いしたいと思います。

赤羽教育長 ありがとうございます。

碓井教育長職務代理者 ほかの点についてお願いします。不登校支援の関係ですけれども、5月の広報しおじりに、「広がる多様な学びの場―塩尻市の不登校支援―」という記事が載っていました。そこには、現在の実態や初期の対応、そして多様な学びの場ということで、学校での対応や、学校以外の学びの場の紹介がされていました。広報見開き1ページの部分に、相談できる人や高ボッチ教室、また、フリースクールの利用料補助等の内容を端的に載せていただいて、これは必要な方にとって、とても参考になる内容であると思いました。記事のリード文にもありましたけれども、ゴールデンウィーク明けに向けたこの時期に、広報等で紹介していただくことは大事なことで、読ませていただいて改めて思いました。

また、先日26日にあった「育ちを見つめる笑顔の会」に、私、参加させていただきました。徳武委員も参加されたわけですが、会は、SSW（スクールソーシャルワーカー）の方が進行されて、高ボッチ教室の小松先生から塩尻市の不登校支援についてのお話があって、その後、個別の相談会が開催されました。

参加された方は、主催者側を除くと15名ぐらいだったかと思いますが、御夫婦で来られて相談されたり、お子さんも一緒に来て同席して話をする姿があったりするなど、有

意義な会だったという感じを持ちました。

事務局からも支援関係の担当者、高ボッチの先生、教育センターの先生方など、10名以上の方が参加されて、力を入れて御支援いただいていると感じましたが、参加者の人数が不登校のお子さんの数値に比べると、やや少ないかなという思いも持ちました。

そのような点について、事務局ではどのようにお考えなのか。そして、どのようにこの会の周知を図ったのか。学校の先生方等に、該当者の方が参加するよう後押ししてもらい、そういう依頼などをしたのか、そのような点を教えていただければと思います。

徳武委員、参加されていますので、もし付け加えることがあったら、付け加えていただいて。

徳武委員 私も26日、参加してきました。今回は、スクールソーシャルワーカーの先生方はじめ、支援の先生たちがとてもたくさん見えていて、保護者の前で全員自己紹介をしていたら、相談をどうぞしてくださいという紹介があったのが、とても分かりやすくてよかったと思います。

私も、1点質問したいのですが、高ボッチ教室に通う際にバスが出ているとか、また、もしバスが出ていれば、そういった補助があるとかいう話を聞いたのですが、例えば、遠い子が高ボッチ教室に通うときに、通学に困る方は、そういう補助とか手当があるのかということをお教えいただきたいと思います。お願いします。

赤羽教育長 まとめてお願いします。

上條学校教育課長 今週月曜日にありました親の会の関係になりますが、最終の参加人数は20人を超えているというようにお話は伺っております。昨年も4回、5回ほど親の会を開かせていただきました。それに比べると、非常に多い方が参加されている状況になっております。

周知の方法になりますけれども、全保護者が登録しているHome & Schoolというアプリがございまして、そこからチラシを配信し周知をさせていただいておりますので、全世帯に一斉に送らせていただいている状況であります。

なお、もう既に個別に子と親の支援員やスクールソーシャルワーカーとつながっている方々は、日常的にいろいろな相談等は受けておりますし、今回は、新たに不安に思っている、もしくはなかなか現在、教育支援センターとつながりがないような方が見えているケースも多々あるかと感じております。

あと、交通移動手段についてですけれども、広丘のいずみ塾に通われている方に対しては、例えばのり一との運賃支援等の補助は出させていただいている状況にございます。

徳武委員 分かりました。ありがとうございます。遠い人が通うには、親御さんがお子さんを送っていけない場合、どうしても支援が必要だと思うので、ぜひお願いしたいと思います。

それと、もう1点いいですか。Home & Schoolのチラシですけれども、確かに受け取る側は受け取るのですが、見ない人は絶対スルーしてしまうのがすごく気になっていて、例えば、さっきの碓井職務代理がおっしゃったけれど、そういった支援が必要な子に関しては先生から、例えば、こういうものがあるよと紙で渡してもらおうとか、そういったものもあるといいかなということを感じておりますので、またお願いします。

上條学校教育課長 チラシの配布については、昨年来いろいろ御助言をいただきました。スタートしたきっかけとしては、学校での配付物が多すぎるという中で、教員の働き方の一環で、デジタル化をさせていただきました。確かに欲しい情報が手に届いているかどうかという

ころもあります。送ったときに、見出しで重要度も含めて分かるように一応させていただいてはおりますけれども、その辺は改善の余地があるかなと考えております。

あと、不登校の親御さんたちにどのように届けるかという形になります。不登校ですので、学校に来ていないお子さんですとか、そういった方が対象になってきますので、例えば、家庭訪問をした際に紹介をするですとか、そういった形も、今後工夫していきたいと考えております。

碓井教育長職務代理者 ぜひ周知方法をもう少し工夫していただきたいと思います。徳武委員と私も同じような意見です。不登校については、子どもたちにとって大きな課題であると思いますし、保護者の方にとっても同じだと思います。また、保護者の方にかかる負担は大変大きなものがあるのではないかと思いますので、ぜひ一層丁寧に支援内容を周知していただくことと、このような会へ参加とか、チャレンジルームの利用等について、必要な方には、繰り返しになりますけれども、学校や関係の方が後押し等を適切にさせていただくなどして、この課題が少しでもいい方向に進んでいくことを願っております。以上です。

壺委員 不登校支援に関してなのですが、先日、c o r e 塩尻の中に入っているeスポーツをやっているR e , r o a d の金井さんとお話をして、彼は今、松本青年会議所の理事長をやっています、青年会議所を挙げて、部活動の地域移行を勉強したりとか、不登校支援について何かできるのではないかということで、今、eスポーツやっている場所を不登校支援、居場所ということで提供したいと考えているということです。

今、シニアの人たちがeスポーツで太鼓の達人をやって、この間、全国大会の個人戦で優勝したおじいちゃんがいまいたけれど、ああいう人たちが交流する場所としても、子どもたちが行きやすい場所になってほしいなと思ひまして、内容を見せてもらったのですが、大変楽しいeスポーツの例がありまして、ただ、場所は狭いので、これから少し大きくしていった方がいいなと思っていますし、需要があればですけど、我々としても何か支援できることがあればしていきたいと思っています。報告です。

赤羽教育長 どうもありがとうございました。皆さん、ほかはよろしいでしょうか。
貴重な御意見、たくさんありがとうございました。参考にさせていただきます。
それでは、次に行きたいと思います。

○報告第1号 主な行事等報告について

赤羽教育長 報告第1号、主な行事等報告についてお願いします。資料1ページから4ページです。事務局から説明をお願いいたします。

小松平出博物館長 それでは、1ページの上段をお願いします。4月12日に「みんなで縄文の家をつくろう!」ということで、平出遺跡公園内にあります縄文時代の復元住居を使ったかやぶき体験を行いました。体験会には、親子連れを中心に市内外から53人の参加者がありまして、かやぶき職人の指導の下で、骨組み状態である住居にカヤを固定していくという作業を行いました。最初は慣れない作業に戸惑っていた子どもたちも、最後には手際よくカヤを縛りつけるような、そういった姿が見受けられました。この中から未来のかやぶき職人が生まれてくれたらいいなというふうに感じられたイベントでございました。

続きまして、下段をお願いします。4月20日に「妙義山城を歩く」を開催いたしました。洗馬元町にあります、戦国時代の山城であります妙義山城を舞台に、随所に見られる戦国時

代の人々の手が加わっている痕跡について、本洗馬資料館の職員の説明を聞きながら、トレッキング感覚で登山をいたしました。この日は天候にも恵まれまして、山頂付近からは松本平を一望する絶景も見られ、参加者は大いに満足しておりました。私からは以上です。

赤羽教育長 続けてお願いします。

矢澤市民交流センター長（図書館長） 引き続きまして、2ページを御覧ください。図書館の行事報告をさせていただきます。まず一番上、4月22日、レコード鑑賞会ということで、市内在住のレコード愛好家3名の方に御協力いただきまして、リクエストに応えながらレコードの鑑賞会を行いました。こちらはシニア向けのイベントということで、平日に開催をさせていただきまして、参加者と協力者の交流にもつながり、大変好評をいただきました。その場で、図書館で用意した本を読んでいかれた方や、その後、図書館の利用登録をしていただいた方等にもつながりまして、いい取組になりました。

4月24日、ビジネス情報相談会・ミニセミナー「創業期のSNS集客活用セミナー」ということで、5名の方に参加いただきました。こちらは毎年行っておりまして、塩尻市立図書館と長野県よろず支援拠点が連携しまして、ビジネス情報相談会を月に3回、うち1回にミニセミナーを実施しております。創業を考えて、初めてビジネス相談会に参加される方や個別の相談会を予約してくださる方の参加もございました。

5月3日に「本の世界にお出かけしよう！わくわくおはなし会」ということで、28名の方に参加していただきました。4月23日から5月12日のこども読書週間に併せまして、「世界の国々」をテーマに、絵本や素話、エプロンシアターを使ってスペシャルおはなし会を行いました。ふだんのおはなし会より少し難しい内容でありましたけれども、最後まで離れることなく聞いていく方が多くいらっしゃいました。読書手帳にカバーのようにかけるパスポートを作り配布したことが好評でしたので、別の機会でも活用していきたいと考えております。

続きまして、3ページを御覧ください。5月10日、楽しい読み聞かせ・おはなし会講座ということで、1回目の講座になりますけれども、27人の参加がありました。おはなし会や読み聞かせに興味のある初心者の方、スキルアップを目指す方に向けた連続講座の1回目として、読み聞かせ・おはなし会向けのお薦めの本を紹介させていただきました。予約の申込みが多かったため、塩尻市内の学校ボランティアのグループでの参加希望もあったため、その方たちと初心者の方たちを午前・午後の2回に分けて対応させていただきました。図書館の利用登録にもつながり、会場に展示した絵本の貸出しも多くございました。

4ページ目を御覧ください。5月11日日曜日ですけれども、信州しおじり本の寺子屋開講式と三島利徳さんの講演会「農民文学と私―編集長7年を終えて」ということで、先ほど教育長からもお話がありましており、本の寺子屋の今年度の開講式と共に開催し、72名の方の参加をいただきました。農民文学編集員で前編集長の三島利徳さんを講師に招きました。開講式も14期目になりました。約半数の方が、初めて本の寺子屋に参加したという方だったため、講師の分かりやすい講演会で、参加した皆さんにも満足していただいております。私からは以上となります。

赤羽教育長 続けてお願いします。

上村交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） 1ページ前にお戻りいただきまして、3ページの下段でございます。5月11日に開催しました第37回ファミリースポレクフェスティ

バルでございます。先ほど八島委員、甕委員からもお話をいただいたものでございますけれども、今年度は中央スポーツ公園に加えまして、東京都市大学塩尻高校の施設を開放いただきました。施設を開放いただいただけでなく、生徒の皆さん、各種コーナーを担当いただきまして、大変盛り上げていただいたところでございます。また、同校の吹奏楽部には開会式の演奏も御担当いただきまして、幕開けに花を添えていただいたところでございます。当日は晴天にも恵まれまして、ボランティアを含めて、約1,700人もの御参加をいただいたところでございます。課題としましては、都市大塩尻高校に会場を広げたことによって、会場が大変広がってございますので、そうしたものを効率的に回るための導線確保というところを、来年工夫をこらしてまいりたいと考えてございます。以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは、委員の皆様から御質問、御意見がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

徳武委員 質問させてください。図書館のレコード鑑賞会を聞いてもいいですか。参加者の感想のところに「細胞が生き返ったような気持ちになった」「命の洗濯ができた」、すごいと思うのですが、どういったレコードをかけていたのでしょうか、とても気になりまして。また、愛好家の方というのはどれくらい、収集家の方ですか。その辺の内容を聞きたいと思います。

矢澤市民交流センター長（図書館長） ありがとうございます。音盤館、銀座通りにございまして、レコードを個人で収集されていて、訪れた方に聞いてもらう取り組みをされている方や、個人で収集されている方で500枚近くレコードを持たれている方が協力してくださっています。

内容としましては、クラシックだけではなくて、ポップスだったりロックだったりということで幅広いジャンルのレコードが用意されています。その3人の方がいらっしゃるによって、得意分野が皆さんございまして、松任谷由実さんですとかサザンオールスターズからはじまって、昔のアイドルの方たちなどが数多く用意されていました。用意したレコードをすべて多目的ホールに置き、ジャケットが見えるようにして置いていただいて、その中でリクエストをいただいた中からかけさせていただくような形を取らせていただいています。

レコードで聴いていただくことですごく感動される方が多くいらっしゃいまして、多目的ホールも音響がいいという話をいただいておりますので、そういった形で喜んでいただける方がいて、大変ありがたかったと思っております。

徳武委員 ありがとうございます。この感想を聞いただけでも行ってみたいなという気になるので、またありますか。また参加する人が増えそうな感じがしますね。

矢澤市民交流センター長（図書館長） 一応、年1回の開催となります。今後の方向性としては、シニアだけではなくて、ほかの方たちも今レコードの需要も増えてきているというところもありますので、検討はしていきたいという話は、この前、主催者の方たちと一緒に話をさせていただきました。

徳武委員 分かりました。楽しそうなので。ありがとうございます。

赤羽教育長 ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。ないようですので、次に進みたいと思います。

○報告第2号 6月の行事予定等について

赤羽教育長 報告第2号、6月の行事予定についてお願いいたします。資料5ページです。皆さん全員に関わるものは、26日に教育長退任に関わること、27日に教育長就任、定例教育委員会・協議会及び歓送迎会があります。また、30日には、教育委員退任・就任挨拶がありますので、皆さんの御出席をお願いいたします。

また、24日の春季塩嶺御野立記念祭については通知が来るとと思いますので、また御確認よろしく申し上げます。それから、8日、22日、29日に本の寺子屋、15日に子育て支援セミナーが予定されておりますので、御都合のつくところがありましたら、御参加お願いしたいと思います。

見ていただきまして、質問がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。
それでは、次に進みたいと思います。

○報告第3号 後援・共催について

赤羽教育長 報告第3号、後援・共催についてです。資料6ページから9ページで、一度見ていただきまして、委員の皆様から御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

碓井教育長職務代理者 8ページ、9ページに載っている、7番、15番、16番、また13番のところなのですが、ここに書いてある7番、15番、16番については、かまばの森で遊ぶ会というふうにあります。そして13番が、株式会社PORT（ポート）と読むのでしょうか、児童発達支援事業所ふぁいんという、これらはどんな団体でどんな会社なのか。以前からある団体なののでしょうか。そして、これはどんな内容を行うのか、分かれば教えていただきたいと思います。

上條学校教育課長 7番、15番、16番であります、かまばの森につきましては、法人格を持たない団体になります。主に代表の方が山村留学で子どもを受け入れる活動を松本で行っておりまして、例えば塩尻でいうと、この次に出てきます、わおんの活動みたいな形で自然の中で体験をさせており、中山の考古博物館の東側に遊び場というか拠点を持っておりまして、そこで活動を行うということで、申請自体は初めてになっています。そういった活動を塩尻の子供向けに広げていくという形の活動をしている状況でございます。

あと、ふぁいんにつきましては、過去にも講演依頼等がありまして、児童発達支援事業所で、場所は原新田となります。主に発達に支援の必要があるお子さんについて、保護者、福祉関係者、教育関係者などの関りのある方たち同士を結んで、支援をしていくという内容になっておりまして、今回は、総合文化センターで6月下旬に講演会等を開く形になっております。発達支援の関係で主に活動をしている団体になります。

赤羽教育長 よろしいですか。

碓井教育長職務代理者 ありがとうございます。

赤羽教育長 そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。
では、次に進みたいと思います。

○報告第4号 塩尻市文化会館の予約受付の一時停止について

赤羽教育長 続きまして、報告第4号、塩尻市文化会館の予約受付の一時停止についてですが、資料は10ページになります。事務局から説明をお願いします。

上村交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） それでは 10 ページ、報告第 4 号、塩尻市文化会館の予約受付の一時停止についてでございます。御承知のとおり、塩尻市文化会館レザンホールでございますが、利用者の皆さんに安全かつ快適に御利用いただけるよう、このたび大規模改修を行うところでございます。工事期間中につきましては、施設を全面または部分休館とするため、休館予定期間の予約の受付を一時停止するものでございます。

2 番でございますけれども、休館予定期間につきましては、令和 8 年 6 月から令和 9 年 7 月まで。あくまで予定でございます。

3 番のその他につきましては、大規模改修工事に向けて、現在準備を進めているところでございますが、来月に公告を行いまして、事業者を募集していく予定でございます。その後、契約について、9 月の議会で議決をいただく予定をしております。その後、今年度につきましては、基本設計・実施設計を行いまして、その後、令和 8 年 6 月から工事となる予定をしております。

(2) でございますけれども、予約の停止期間につきましては、この令和 8 年 6 月から令和 9 年 7 月の間に大ホール、中ホールをそれぞれ順次進めていくので、一部、工期が決まりましたら、この間は貸出し可能ですというようなことが出てきますので、その間、分かりましたら、改めて市民の皆様にお知らせをさせていただきたく存じます。

なお、一番下の米印でございますが、レザンホールの予約につきましては、利用する日の 1 年前に当たる月の初日から受付を行っておりますので、来年の 6 月からの受付は今年の 6 月から始まるということで、あくまでも来年の 6 月から令和 9 年 7 月までの間ではございますけれども、一時予約を停止とさせていただきたく思います。

なお、この情報につきましては、広報塩尻の 5 月号にも同様のお知らせをしているところでございます。以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは、委員の皆様から御質問、御意見がありましたらお願いいたします。よろしいですか。ありがとうございます。

では、ないようですので、報告のとおり御承知おきください。

それでは、次に進みます。

- 報告第 5 号 塩尻市立博物館協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
- 報告第 6 号 本洗馬歴史の里協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
- 報告第 7 号 塩尻市立図書館協議会委員の任命に係る専決処分報告について
- 報告第 8 号 塩尻市学校運営協議会委員の解任及び任命に係る専決処分報告について

赤羽教育長 続きまして、報告第 5 号から第 8 号までは全て専決処分報告ですので、一括議題といたします。資料 11 ページから 18 ページまで、事務局から説明をお願いします。

小松平出博物館長 それでは、11 ページをお願いいたします。報告第 5 号、塩尻市立博物館協議会委員の委嘱に係る専決処分報告についてです。令和 7 年 3 月 31 日をもちまして任期満了になりました塩尻市立博物館協議会委員につきましては、塩尻市立博物館条例第 6 条の規定に基づきまして委員を委嘱したことについて報告するものであります。任期につきましては、令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までとなっております。

続いて、13 ページをお願いいたします。報告第 6 号、本洗馬歴史の里協議会委員の委嘱に

係る専決処分報告についてでございます。こちらにつきましても、令和 7 年 3 月 31 日をもって任期満了になりました協議会委員につきまして、本洗馬歴史の里条例第 10 条の規定に基づきまして委員を委嘱したことについて報告するものになります。こちらの委員の任期につきましても、令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までとなっております。私からは以上です。

赤羽教育長 続いてお願いします。

矢澤市民交流センター長（図書館長） 15 ページを御覧ください。15 ページですけれども、当日配付資料でお渡しさせていただいております報告第 7 号の資料を御覧ください。塩尻市立図書館協議会委員の任命に係る専決処分報告についてお話しさせていただきます。令和 7 年 4 月 30 日をもって任期満了となった塩尻市立図書館協議会委員について、塩尻市立図書館条例第 3 条の規定により任命したことについて報告するものです。裏面を見ていただきまして、教育長専決日は令和 7 年 5 月 1 日、委員の任期は令和 7 年 5 月 1 日から令和 9 年 4 月 30 日までとなっております。私からは以上です。

赤羽教育長 続いてお願いします。

上條学校教育課長 それでは、報告第 8 号、学校運営協議会委員の解任及び任命に係る専決処分報告につきまして、17 ページ、資料 No. 8 を御覧ください。学校運営協議会委員辞任申出書及び推薦書が学校より提出され、委員の解任及び任命について、教育長専決により決定しましたので報告するものでございます。教育長専決日 3 種類ございます。令和 7 年 4 月 1 日、4 月 21 日、5 月 1 日であります。その番号につきましては、一番下の 5 の一覧表の中のほうを御覧ください。任命委員の任期につきましては、前任者の残任期間であります令和 8 年 3 月 31 日までとなり、今年度の学校運営協議会委員数は、4 月時点より 3 名増の 313 名でございます。私からの説明は以上となります。

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは、委員の皆様から御質問、御意見ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

ないようですので、報告のとおり御承知おきください。

○報告第 9 号 令和 7 年塩尻市議会 5 月臨時会報告

赤羽教育長 続きまして、報告第 9 号、令和 7 年塩尻市議会 5 月臨時会報告についてですが、資料 19 ページから 23 ページになります。事務局から説明をお願いします。

上條学校教育課長 それでは、19 ページ、資料 No. 9 を御覧ください。令和 7 年塩尻市議会 5 月臨時会に係る教育委員会関係の報告になります。提出議案につきましては、人事案件 1 件、財産の譲渡案件 1 件でございます。提出議案につきましては 5 月 8 日に提出され、同日の本会議において、原案どおり可決されております。なお、人事案件及び財産の譲渡案件につきましては担当の課長から、委員会審査の概要につきましては部長から報告をさせていただきます。

最初に議案第 2 号、教育長の任命について御説明をさせていただきます。資料 20 ページを御覧ください。現教育長赤羽高志氏が令和 7 年 6 月 26 日に任期満了となることに伴い、新たに佐倉俊氏を適任者と認め、任命しようとするもので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 4 条第 1 項の規定により、議会の同意を求めたものでございます。

佐倉氏につきましては、中学校教諭として 37 年間勤められ、県教育委員会の参事兼課長

を歴任したほか、市内の中学校長を5年間務められ、教育関係者として学校教育における経験のほか、教育行政にも精通していることから、選任させていただきました。なお、任期は3年で、略歴書は次の21ページにありますので御確認ください。

続きまして、議案第5号、財産の無償譲渡について御説明申し上げます。資料22ページを御覧ください。檜川地区の奈良井にあります旧教職員住宅2棟について、最近は入居者がいない状況が続いていたため、建物を解体し更地にして、土地所有者であります平沢区自治協議会に返還する予定でありましたが、平沢区から建物つきでの返還要望があったことから、無償譲渡することについて、地方自治法第96条第1項第6号の規定により、議会の議決を求めたものでございます。説明は以上となります。

百瀬子ども教育部長 それでは、次の23ページになります。社会文教常任委員会におきまして、無償譲渡の案件についての質問が出ました。平間委員から、無償譲渡する旧教職員住宅には住みたいという希望があるのか、また、これから探していくのかという質問に対しまして、もう3年ほど使用されていない状態で、すぐに住める状況ではありません。今後、平沢区でリフォームをして、入居者を募集すると伺っています。直近でお伺いしているのは、8月頃に檜川小中学校に短期教育留学の希望者に対して貸していくというお話を聞いております。

同じく平間委員から、リフォームは平沢区で実施するのかという問いに対しまして、平沢区の持ち物ですけれども、しおじり街元気カンパニーがリフォームを担っていくという答弁をしております。以上です。

赤羽教育長 それでは、委員の皆様から御質問、御意見ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

ないようですので、報告のとおり御承知おきください。

それでは、次に進みたいと思います。

4 議事

○議事第1号 塩尻市人権教育推進委員会委員の委嘱について

赤羽教育長 続きまして、議事に入ります。議事第1号、塩尻市人権教育推進委員会委員の委嘱についてですが、資料24ページから25ページです。事務局より説明をお願いします。

上村交流文化部長（社会教育スポーツ課長） 塩尻市人権教育推進委員会委員の委嘱についてでございます。1番の趣旨でございますが、委員の任期が令和7年5月31日をもって満了となることに伴い、塩尻市人権教育推進委員会規則第3条及び第4条の規定により、委嘱することについて協議をお願いするものでございます。

委員の皆様につきましては、2番の表のとおりでございます。なお、前回、八島委員より、委員の任期が分かるようにということで御指摘をいただきましたので、それぞれ何期目ということを入れさせていただきました。

25ページ、3番でございますが、任期につきましては令和7年6月1日から令和9年5月31日まで、規則につきましては先ほど申し上げましたとおり、人権教育推進委員会規則でございます。該当文の抜粋は以下に示したとおりでございます。私からは以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは、委員の皆様から御質問、御意見がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、採決いたします。議事第1号につきましては、原案のとおり決することよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

赤羽教育長 異議なしと認め、原案のとおり決することといたしました。

それでは、本日予定されていた案件は以上ですが、そのほか、委員の皆様から何かありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

事務局から何かありましたらお願いいたします。

それでは、私のほうからよろしくお願いします。私から一言、退任の挨拶をさせていただきたいと思います。本日の定例教育委員会が、私にとりまして最後の定例教育委員会となりました。6年間にわたりましてお支えいただきましたこと、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

6年前ですが、私は全く教育長になるとは考えていませんでした。その職を頂き、私自身だけでは全くできないことは当然分かっていましたが、ここにお集まりの皆様をはじめ、学校長、教頭、教務主任、園長、各校の先生方、各保育園の先生方、そして塩尻市の職員、教育委員会事務局メンバー、さらに地域の皆様に支えられての2期6年間でありました。

私、今日、教育長報告2点させていただきましたが、まさにその中で、皆さんによって子どもたちが支えられているということを強く思っていますので、そこをお伝えいたしました。全力で支えていただいている姿がこの姿であったと思います。

日々、様々な出来事の連続であります。最近では会議が多くて、私の挨拶も1日5回とか。その中で、事務局挨拶文原稿をそのまま読むのは伝わらないと思い、自分なりの拙い経験を探し出して、なるべくやろうと考えてきました。でも、挨拶する準備の時間が足りないなという日々でありました。

1つだけ忘れられない思い出がありまして、お話しします。コロナ禍、全国でGIGAスクール構想が急浮上しました。私が教育長になったときは、視聴覚室に1クラス分が使えるノート端末を用意する計画でスタートしていたのですが、完全に1人1端末になるという話が出て来て、他市等では、端末利用に向け、大手ICT企業に依頼して、ICT支援員という形で進んでいる状況でした。

塩尻市にはKADOというICT最先端の技術を持った方たちが集まっている組織があり、塩尻市の中でも大きな役割を果たしているということを知っていました。教育委員会事務局メンバーと相談して、このKADOに相談を持ちかけようということで、米窪前副市長に、お願いしました。するとすぐ、それはこっちにとってもありがたいということで話が進展し、KADOメンバーと対談しながら進めてまいりました。

私が一番感じたのは、担当学校を決めて支援をお願いしてきたこともあり、KADOのICT支援員さんたちは、塩尻の子どもたちに愛着を持って関わっていただきました。子どもだけではなく先生方も本当に困っているから、どうやって支えていくか。教え込むのは駄目だ、その先生が困ったときに出ていこうとか、様々な工夫がある中で進んでまいりました。これが一番、塩尻市にとって大きな成果だったなということを私は感じています。

先ほどから国指定のリーディングDXスクール事業の採択で、委員の皆様から参考になる御意見をたくさんいただいて、私、うれしく感じました。3名の教師による端末を使った師範授業ですけれど、100名を超える先生方が1つの学校に集まるということは、教育課程研

究協議会くらいの数がありました。様々な課題があるということは分かっている中で、まず始めてみながら、その中で改善したり、今日みたいに御意見をいただきながら進めていくということ。そこは私もとても大事だと思って、進めてまいりました。

特に小学校の先生から見ると、こんなことはすぐにできない。特に低学年だとか。当然でありますので、小学校はどんな形でやっていくかということもこれから先大事なのですけれど、課題を持って自分の学校に持って行って、自分たちの学校の特色のある活動の中から自分たちは何をやっていくかということを各学校が進めていくという。実はこれはとても大事なことで、課題を持って子どもたちを見つめる。つまり、子どもたちを真ん中にこのICTを進めていくことがとても大事なかなということだと思います。

一方で、先ほどのサツマイモの苗の植え方という話がありましたよね。斜めに植えると。実は子どもにとって苗は真っすぐ植えるものであって、斜めに植えることへの疑問を持つ子どもたちがいるのです。今教育長面談をやっていて、宗賀小の米窪校長は、斜めに植えるのは何でだ、どんな理由だとか疑問を持っている子がいて、真っすぐ植えてみたいと言った子がいて、本当に試しているそうです。斜めに植えるのは何でいいかというと、均一の大きさのサツマイモが出来ます。宗賀小の焼き芋会に使うから、どんぐりプロジェクトの人たちもみんな斜めに植えるよう指導しています。それが常識なのですが、縦に植えると、すごく大きな芋になると聞いています。私はまだ試したことはありません。

ですから、このような体験を大事にした活動も織り交ぜながら、進めていかないといけないということを校長たちもみんな分かっていますので、各教科の中で進めていってほしいと思います。

私は一市民として、ぜひ同じ目線で見守っていきたいと考えております。以上、退任の私からの挨拶とさせていただきます。本当に皆さんお世話になりました。ありがとうございました。

碓井教育長職務代理者 赤羽教育長はこのたび2期6年間の任期を終え、来月26日をもって御勇退されるということですので、この場を代表させていただいて、私から一言お礼を申し上げたいと思います。

今も教育長からお話がありましたけれども、赤羽教育長はコロナ禍がまさに始まる年度に教育長に御就任されました。このような事態は今までに例がなかっただけに、本当に御苦労されたのではないかと思います。その当時の定例教育委員会の会議録を読ませていただくと、その様子的一端がうかがえます。

令和2年3月の定例教育委員会では、教育長報告で教育長から、新型コロナウイルス感染症対策のため、3月2日より2週間にわたりまして市内小中学校は臨時休校を行いました。市が主催するイベントの中止・延期、市有公共施設については休館・休止を行っております。先週14、15日に市内小中学校の卒業証書授与式が執り行われました。新型コロナウイルス感染予防要請を受けまして、在校生は自宅待機で、来賓は招待しない、かつて経験したことのない卒業式でありました。本日ですが、定例教育委員会終了後、臨時校長会を行って、今後の方向を決定します。こういうような内容の御発言があったと記されています。

この頃、蔓延防止対策や新しい生活様式という言葉がよく使われたかなと思いますが、この後さらに小中学校は臨時休校や分散登校を経て、6月から通常登校に一旦戻ったと記憶しています。コロナ禍の影響は子どもたちだけでなく、保護者の皆様はじめ、社会全般にも大

きなものがあり、また、その影響は長引きました。私もその当時、教育委員会の事務局から出された各家庭への通知文を机の横に貼って、それを時々見ては、自分への戒めとしていますが、このような中であって、様々な内容をどうしていくかの最終的な判断は教育長に多くかかってくるわけでありまして、その御心労は想像をはるかに超えるものであったのではないかと思います。

私は、赤羽教育長とはかつて学校現場で一緒に仕事をさせていただいたことがありましたが、気さくでどっしりと構えて課題を解決していく頼りになる方でありました。そういったお力を備えた教育長であったからこそ、このような異常事態を無事乗り越え、市の教育行政が今に至っているのではないかと考えております。

そのほか、赤羽教育長の御功績等は皆様御承知でありますので割愛させていただきますが、1つだけ私の心にあることをお話しさせていただきます。赤羽教育長は、人の未来を信じる、そういうお考えを大事にして、様々な内容を実践されたのではないかと私は推察しております。私が教育センターでお世話になっている当時、今から10年近く前になるわけですが、赤羽教育長は木曽檜川小学校の校長先生をされていました。学校訪問で伺ったときに、中庭に新設したスケート場や校舎東側に造った遊具、それらを見せていただいたことがありました。遊びは、人生における様々な課題に立ち向かう基盤を築いていくということも言われており、遊びから学ぶことは大変大きなものがあるわけで、子どもたちの未来に向けたその実践力に学ばせていただいたことがありました。

また、このことは、市のイベント等に教育長の教師時代の教え子が登場することもあるとあって、その子の学校時代と今を結びつけて発言されるその言葉がけからもうかがえました。お話ししたいことはまだまだたくさんありますが、時間の関係もありますので、この場ではこのくらいでお許しいただきたいと思います。言葉足らずな面もお許しいただければと思います。

赤羽教育長には、少子高齢化やICT化等が進む中、子育て、教育環境等、変化が激しい時代においてと申しますか、将来の変化を予測するのが難しい時代と申し上げたほうがよいかもしれませんが、そういう時代において2期6年間の教育長職、誠にお疲れさまでした。心から敬意と感謝を申し上げます。

御勇退された後はしばらく、このお疲れを取っていただければと思います。しかし、まだまだお若いので、教育関係はじめ地域等も含め、様々な形で待っている状況もあろうかと思います。今後も御活躍いただくことを願っております。本当にありがとうございました。

赤羽教育長 ありがとうございました。

5 閉会

赤羽教育長 それでは、以上をもちまして5月定例教育委員会を閉会といたします。ありがとうございました。

○ 午後3時19分に閉会する。

以上

令和7年5月29日

署 名

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員 学校教育課
教育企画係長